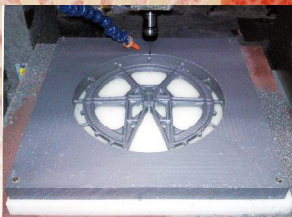


未来ニュース

2011.
1

2011年あけましておめでとろございます
コンクリート製品の未来の扉を開くポテンシャルを提供してまいります

未来樹脂の技術を支える開発技術部



3D造型機

CAD図面に従いプラスチック
原板(プラスチック種選択可
能)から直接成形品を削り出
す装置。製品の事前評価など
に利用可能。

「顧客要求具現化」「再生材料高度利用」「QCD最適化」。開発技術部ではこれらのテーマに設計、量産、評価という3つの技術研鑽を通じて日々取り組んでおります。また最近では3D造型機を導入、より早く確かな製品サンプルを提供可能な体制を整えるなど、開発型企業の一翼として今後も顧客満足度の向上に注力してまいります。



量産技術 成形 金型



開発技術部メンバー



渡辺 知昭

開発技術部部長
フットワークも軽やかに現場を行き交う熱き技術屋。



氏家 明彦

材料開発、量産技術開発担当
迅速丁寧な仕事振りから、社内外で絶大な信頼を誇る。



清水 翼

材料開発、各種評価担当
評価制度に関する偏執的なまでの拘りが売り。



村上 博康

形状設計、量産技術開発(射出成形)担当
その歳からは想像し難い豊富な射出成形技術、知見を持つ。



高橋 英一

材料開発担当
豊富な経験から生まれるユニークなアイデア発想の達人。



須加 浩

形状設計、構造解析担当
顧客要望を掴み、具体的な形に変換するスペシャリスト。

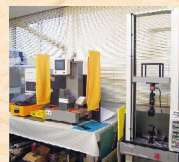
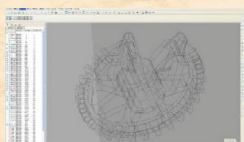
QCD
最適化

再生材料
高度利用

設計技術
形状 材料 工程

顧客要求
具現化

評価技術
物性計測 構造解析
熱、光学分析



Products ① 再生プラスチック新製品紹介

エクサバーの新革命

「ノンスリップエクサバー:12×20」誕生!

待望の“ノンスリップエクサバー”が2月より販売開始となります!
 第1弾として、「厚さ12mm×幅20mm」サイズが登場します。従来型エクサバーの特徴“腐らなく長寿命”“折れない”“製品が汚れない”に加え、
【特徴・効果】
 ●表面の特殊加工により滑りにくい
 ●形状工夫で設置面積を最小限化
 ●最長4000mmまで対応可(受注生産品)
 より幅広い使用用途に対応できるようになりました。



商品名・規格	厚さ	幅	長さ
ノンスリップエクサバー	12mm	20mm	1000mm、2000mm

Products ②

BOXカルバート用緩衝材の新旗手!

「ストレートブラクッション」

この商品は、推進管用の緩衝材(ブラクッション)を直線形にし、BOXカルバート用緩衝材「ストレートブラクッション」として開発されました。
【特徴・効果】
 ●プラスチック製で腐食・変形しない
 ●発泡成型のためクッション性が高い
 ●接着剤で確実に接着できる
 ●長さ・幅・厚さ・穴あけなどの加工が可能
 この1年間で採用例が増えている注目の商品です。



商品名・規格	厚さ	幅	長さ	材質
ストレートブラクッション	3mm	100mm	1000mm	硬質塩ビ

承認願い発行システム

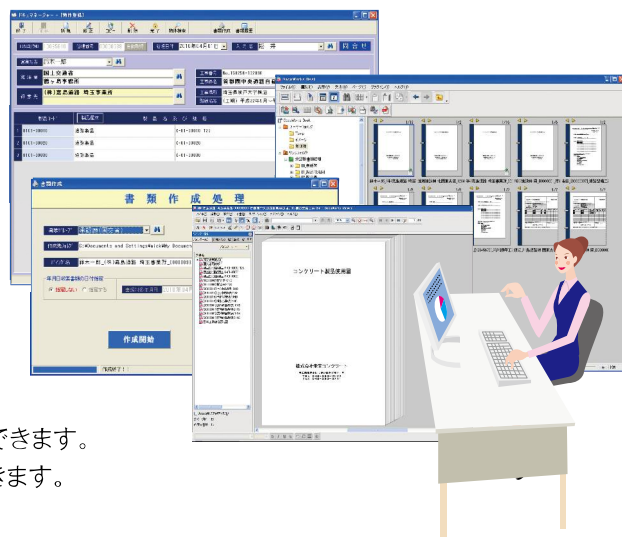
届出に必要な公的書類の作成をスピーディーかつ正確にサポートします

承認願い発行システムの主な特長は下記のとおりです。

- ①必要な書類を提出先や製品に応じて任意に設定可能です。
- ②毎月内容が変わる書類を日付に応じて作成可能です。
- ③表紙から全ての必要書類がまとめて作成されるため、一度に発行でき、後で束ねられた書類の再発行や履歴管理が容易にできます。
- ④現場毎に毎回個別に作成している「かがみ」を自動作成できます。
- ⑤発行時に書類に対してアンダーラインや注釈などの加工が簡単にできます。
- ⑥パソコン1台から始められ、書類設定後は誰でも作成することができます。
- ⑦製品工場専用パッケージ「KINGコンクPro」との連動も可能です。

※当システムはDocuWorks 6.0以上を使用します。DocuWorksは、富士ゼロックス株式会社の商標です。

お問合せ：TEL.049-289-3330 システム営業部までご連絡ください。



編集後記

2011年のスタートに伴い、お客様への新しいご提案が出来る設備の導入・新商品等々を取り揃えました。この1年間は、皆さんのお時間を頂戴しながら、たくさんのご要望をお聞かせいただき、新しいご提案が可能となった未来樹脂の進化にご期待ください。
 プレキャスト営業部部長:内田 英之

「こんな製品があったらいいな」

皆さまの声を未来ニュースに

未来樹脂は、皆さまの現場からの生の声を大切に、それをカタチにする企業です。「こういうことで困っている」「こんな製品があったらいいのだけれど...」というご意見・ご要望がありましたら、どうぞご遠慮なく「未来ニュース」担当者までお寄せください。

